

## **第3章**

### **地域福祉をめぐる状況**

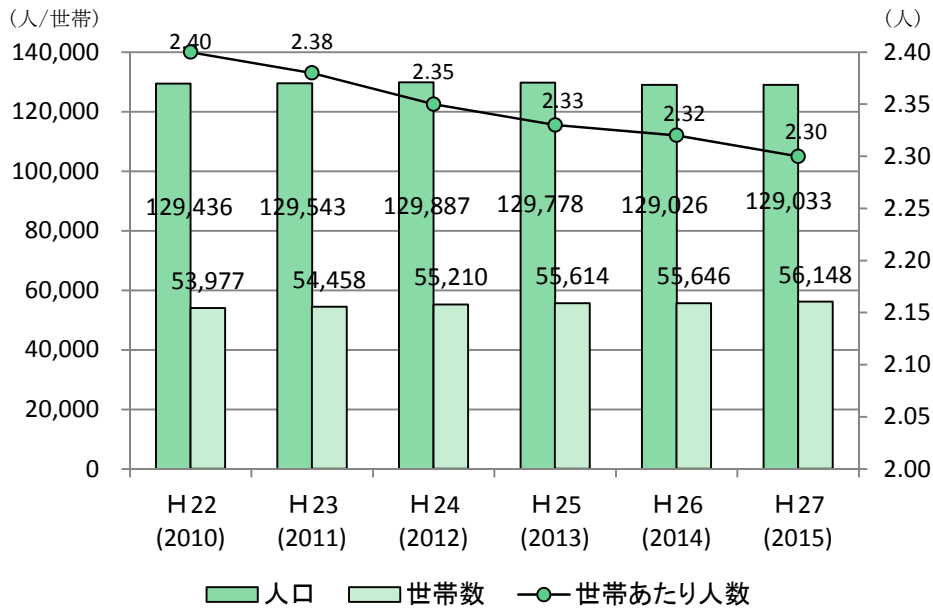


# 1 人口の推移と推計

## (1) 人口・世帯の推移

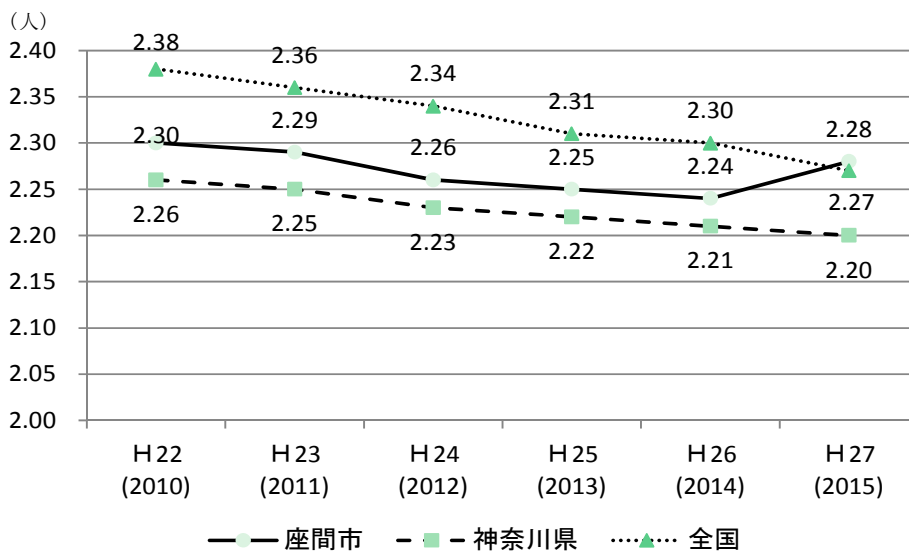
世帯数は微増、1世帯あたりの平均人数は微減傾向です。

最近5年間の座間市の人口は12.9万人前後となっています。一方、世帯数は微増、1世帯あたり平均人数は微減傾向となっています。



資料：情報システム課調(各年10月1日現在)

1世帯あたり平均人数を全国、神奈川県と比較すると、座間市は全国よりも少ない水準で推移してきましたが、平成27年はほぼ同数となっています。

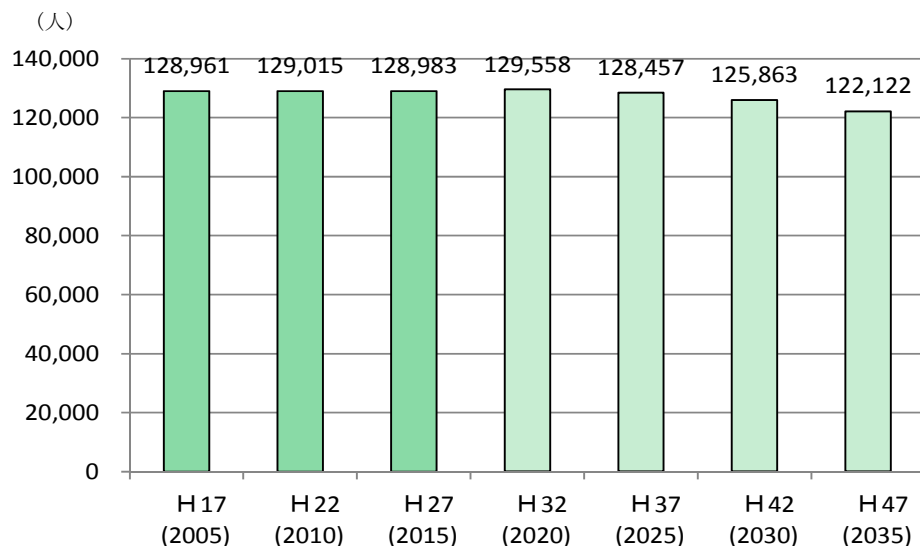


資料：総務省住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(各年3月31日現在、平成26年以降は各年1月1日現在)

## (2) 将来人口の予測

人口は減少すると予測されます。

本市の人口は平成22年（2010年）までは増加を続けてきましたが、平成22年（2010年）以降に減少が始まり、この傾向は今後も続くと推計されています。

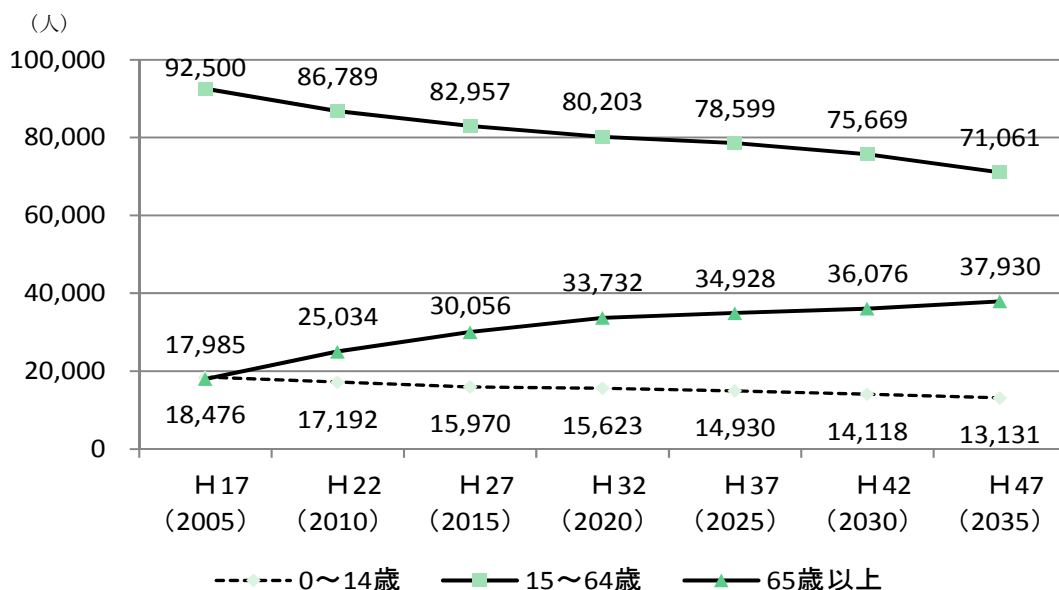


資料：企画政策課調（平成27年までは各年1月1日現在、平成32年以降は同日の推計人口）

## (3) 年齢別人口の予測

年少人口と生産年齢人口は減少、高齢者人口は増加と予測されます。

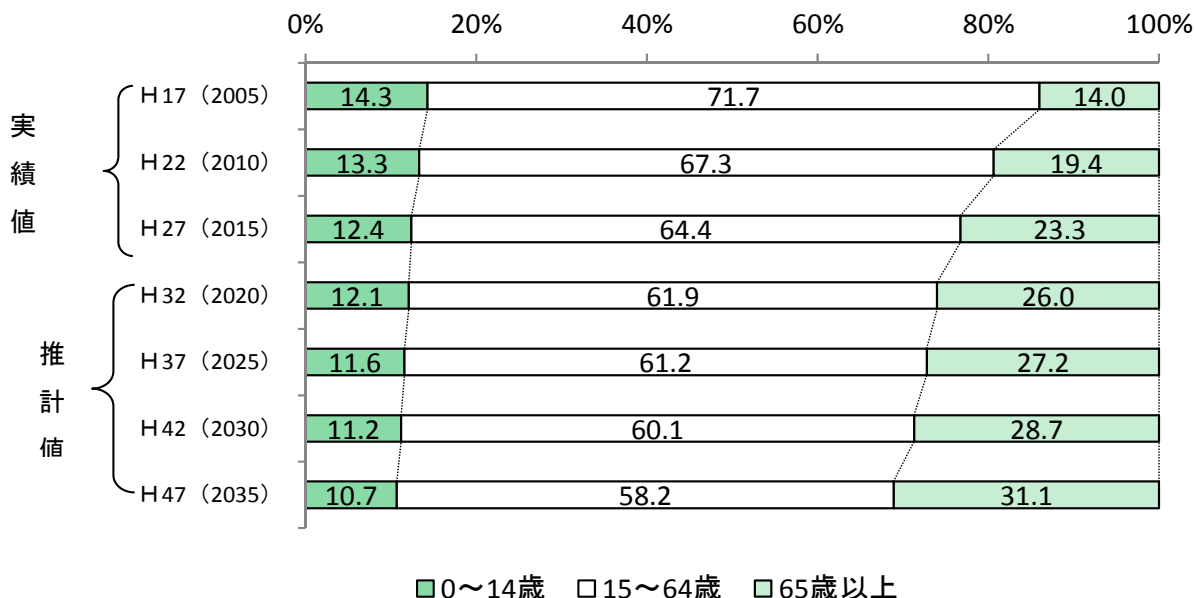
年齢別人口は、年少人口（0～14歳）と生産年齢人口（15～64歳）が減少、高齢者人口（65歳以上）は増加すると予測されています。



資料：企画政策課調（平成27年までは各年1月1日現在、平成32年以降は同日の推計人口）

高齢者人口の割合は増え続けると予測されます。

高齢者人口（65歳以上）が総人口に占める割合は、平成12年（2000年）に10%を超えて以後は増え続けて、平成47年（2035年）には30%を超えると予測されています。

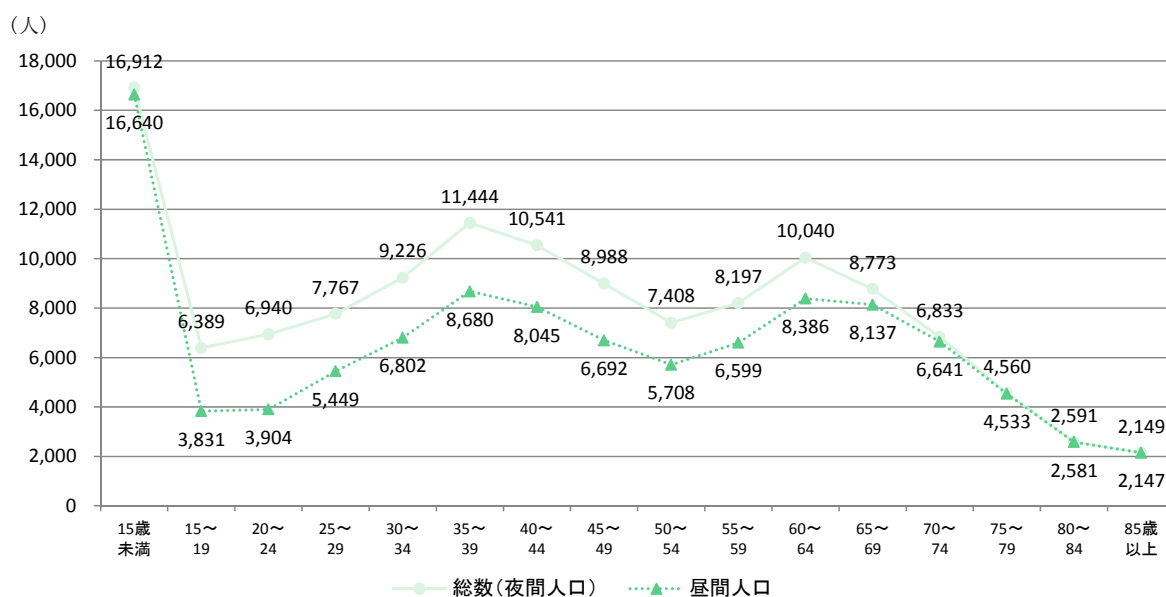


資料：企画政策課調（平成27年までは各年1月1日現在、平成32年以降は同日の推計人口）

#### （4）昼間人口

高校・大学世代で昼間人口が少なくなっています。

平成22年（2010年）10月1日現在の昼間人口は、高校・大学世代で総数との差が最も大きく、65歳以上ではほとんど差はありません。

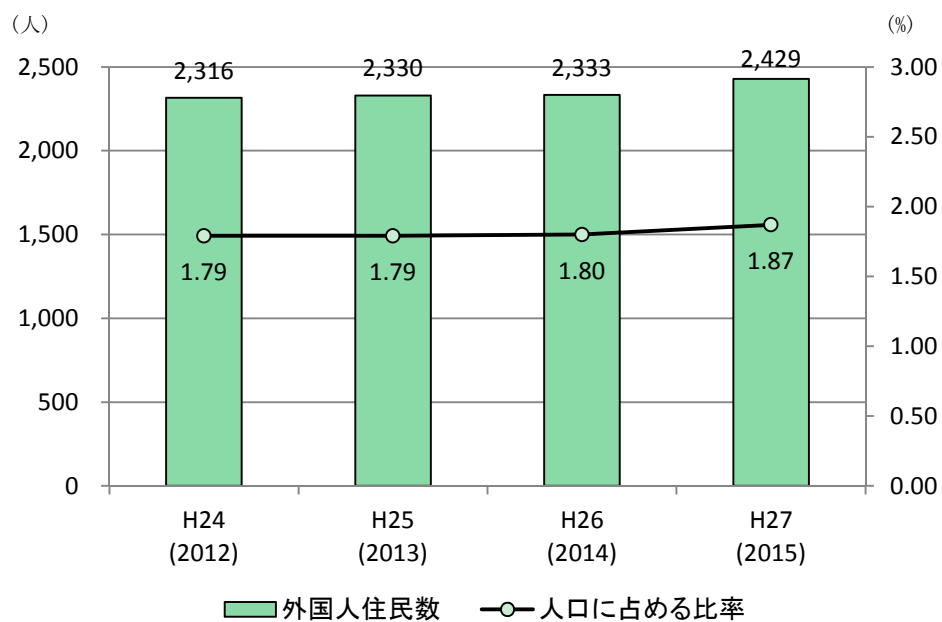


資料：平成22年（2010年）国勢調査結果（10月1日現在）

## (5) 外国人住民の状況

外国人住民数に大きな変化はありません。

外国人住民数はほぼ横ばいで推移しています。



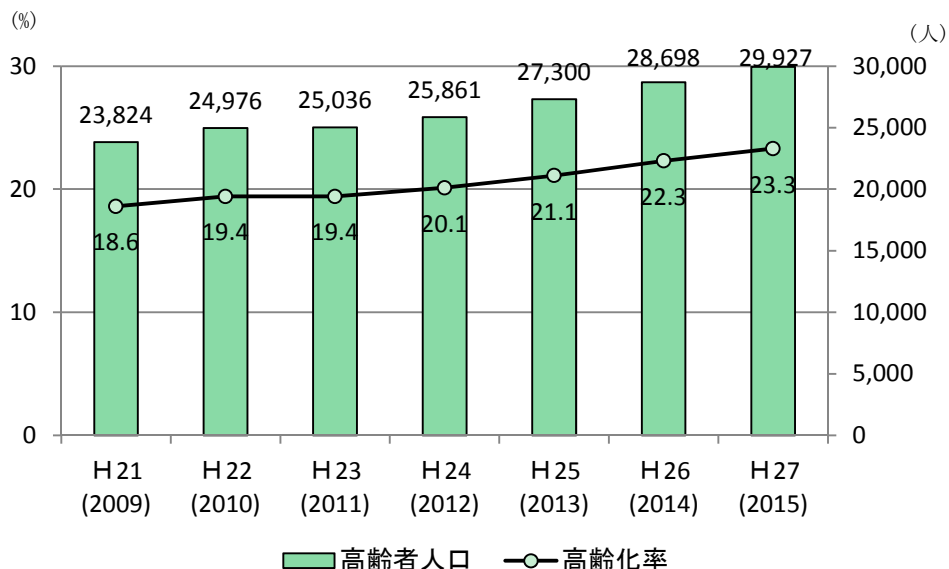
資料：戸籍住民課調（各年12月31日現在）

## 2 高齢者の状況

### (1) 高齢者人口の状況

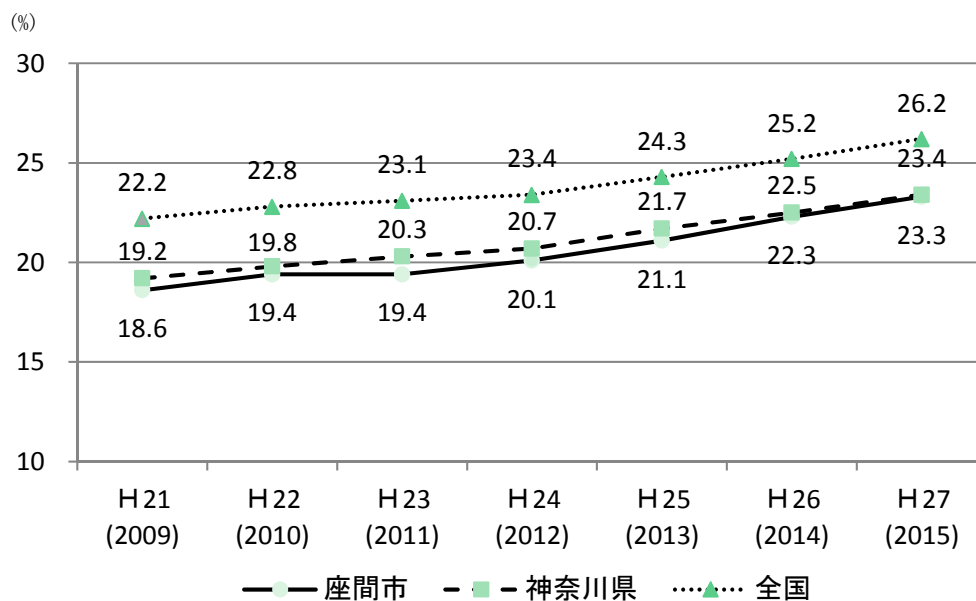
高齢化率は上昇を続けています。

高齢者人口は増加傾向を示し3万人に近づきつつあります。高齢化率も上昇傾向にあり、平成24年（2012年）以降は20%を超えています。



資料：神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）

高齢化率を全国、神奈川県と比較すると、座間市は神奈川県の値をわずかながら下回っています。

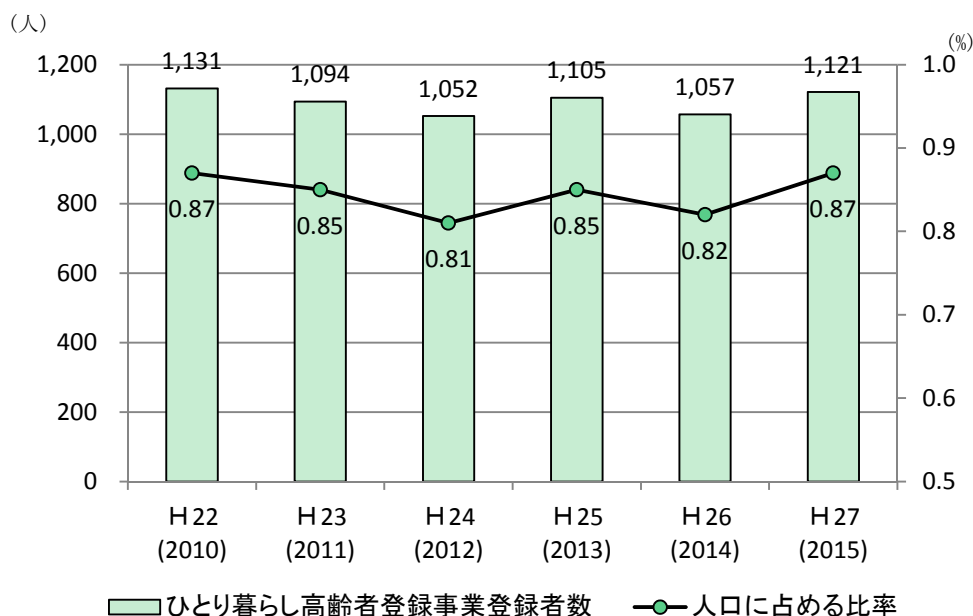


資料：総務省年齢統計月報、神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）

## (2) ひとり暮らし高齢者登録事業登録者の状況

ひとり暮らし高齢者登録事業登録者数に大きな変化はありません。

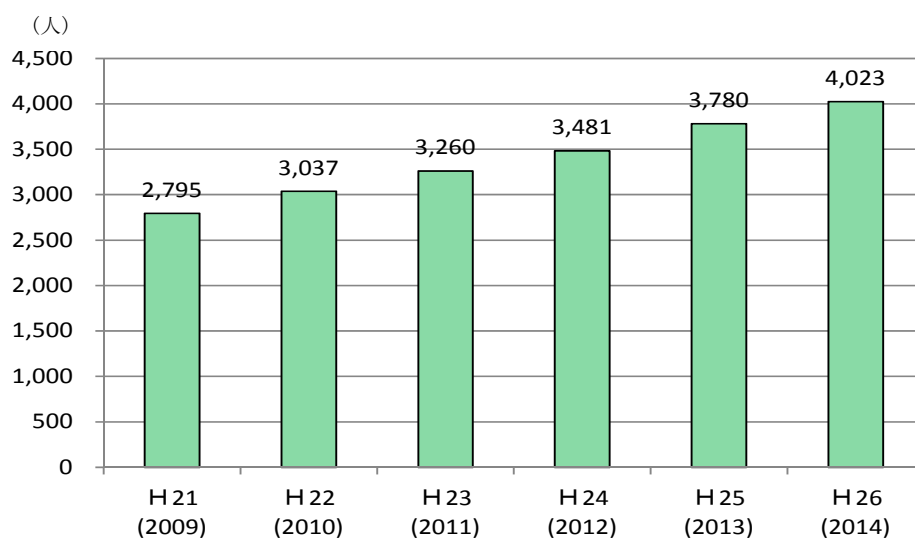
ひとり暮らし高齢者登録事業登録者数は増減を繰り返しながらも、ほぼ同じ水準で推移しています。



## (3) 要介護高齢者の状況

要介護等認定者数は毎年200人以上の増加を続けています。

要介護等認定者数（第1号）は毎年200人以上の増加を続け、平成26年（2014年）10月1日には4,023人となっています。

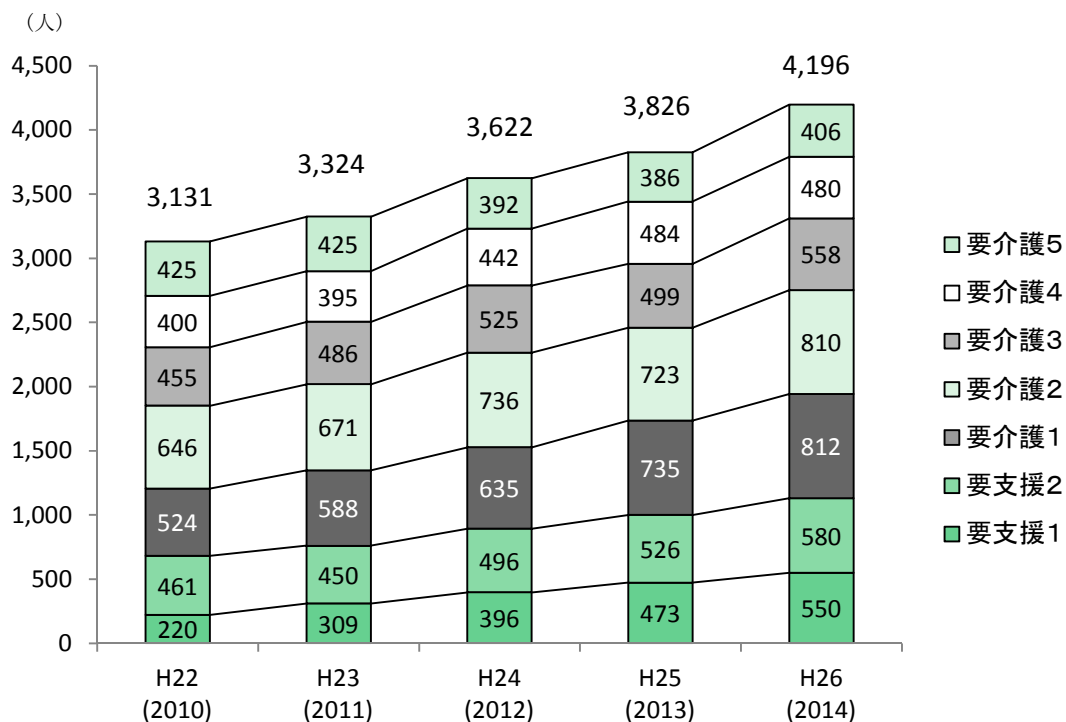




#### (4) 要介護等認定者の状況

要介護5以外では増加傾向です。

要介護等認定者数（第1号）は要介護5以外の各介護度でいずれも増加の傾向となっています。



資料：介護保険事業状況報告（年報）（各年3月31日現在）

#### (5) 市内の主な高齢者福祉施設

施設の種類	施設数	定員	
特別養護老人ホーム	6	510	
介護老人保健施設	2	121	
介護療養型医療施設	1	44	
小規模多機能型居宅介護事業所	3	67	
看護小規模多機能型居宅介護事業所	1	29	
認知症対応型共同生活介護事業所（グループホーム）	5	90	
有料老人ホーム	（介護付）	3	225
	（住宅型）	4	104
サービス付き高齢者向け住宅	4	142	

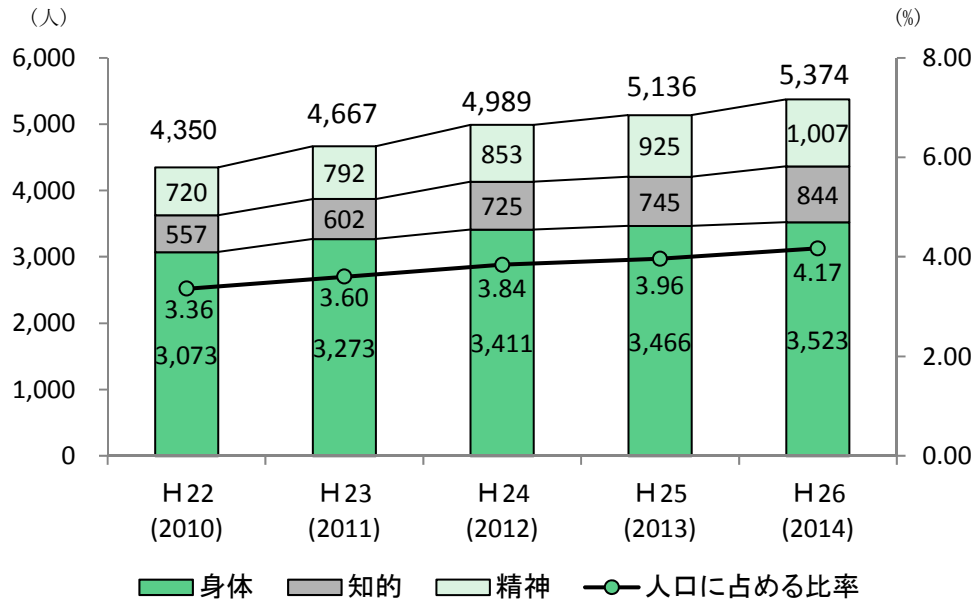
資料：福祉長寿課調（平成28年（2016年）1月1日現在）

### 3 障がい者の状況

#### (1) 障がい児・者の推移

障がい児・者は年々増加しています。

障がい児・者は年々増加し、平成25年（2013年）以降は5千人を超えています。人口に占める割合も平成26年には4%を超えています。



資料：座間市障害者計画 第四期障害福祉計画（各年4月1日現在）

#### (2) 身体障害者手帳交付状況（障がい別）

障害者手帳の交付数はここ5年で年平均90人前後増加しています。

身体障害者手帳の交付数は増加傾向にあり、5年間で約14%上昇しています。

(単位：人)

障がいの部位	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)
視覚障がい	203	208	220	222	218
聴覚・平衡障がい	237	242	257	269	281
音声・言語障がい	38	43	53	53	51
肢体不自由	1,698	1,820	1,812	1,831	1,858
内部障がい	897	960	1,069	1,091	1,115
計	3,073	3,273	3,411	3,466	3,523

資料：座間市障害者計画 第四期障害福祉計画（各年4月1日現在）

※障がい重複している方は最も重い部位で計上

### (3) 療育手帳交付状況

療育手帳の交付数はここ5年で年平均57人前後増加しています。

療育手帳の交付数は増加傾向にあり、5年間で約33%上昇しています。

程度区分		H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)
最重度	障がい児	41	46	38	38	42
	障がい者	76	80	98	92	107
	計	117	126	136	130	149
重度	障がい児	39	44	51	57	46
	障がい者	77	80	101	105	122
	計	116	124	152	162	168
中度	障がい児	41	46	36	40	54
	障がい者	109	116	157	155	180
	計	150	162	193	195	234
軽度	障がい児	73	79	101	115	121
	障がい者	101	111	143	143	172
	計	174	190	244	258	293
合計	障がい児	194	215	226	250	263
	障がい者	363	387	499	495	581
	計	557	602	725	745	844

資料：座間市障害者計画 第四期障害福祉計画（各年4月1日現在）

### (4) 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

精神障害者保健福祉手帳の交付数はここ5年で年平均70人前後増加しています。

精神障害者保健福祉手帳の交付数は1級～3級いずれも増加しており、5年間で約29%上昇しています。

(単位：人)

区分	H22 (2010)	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)
1級	57	66	72	95	106
2級	388	427	467	534	577
3級	275	299	314	296	324
計	720	792	853	925	1007

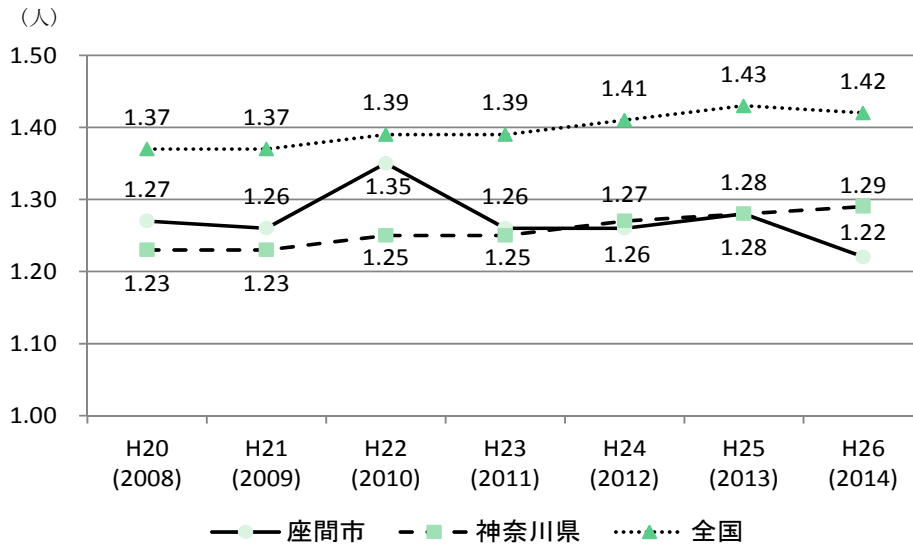
資料：座間市障害者計画 第四期障害福祉計画（各年4月1日現在）

## 4 子どもの状況

### (1) 合計特殊出生率の状況

合計特殊出生率は直近では県より低くなっています。

合計特殊出生率はかつて県の数字を上回っていましたが、平成23年（2011年）以降は同水準まで落ち込み、平成26年（2014年）は県より低くなっています。

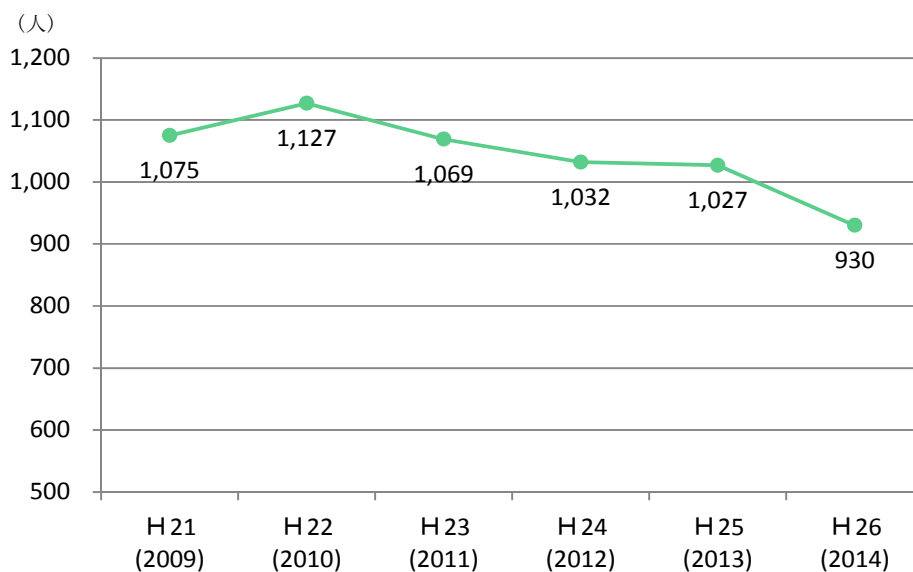


資料：厚生労働省人口動態統計・神奈川県衛生統計年報

### (2) 出生数の推移

出生数は緩やかな減少傾向です。

出生数は平成22年（2010年）に上昇したものの、それ以降は緩やかな減少となっています。

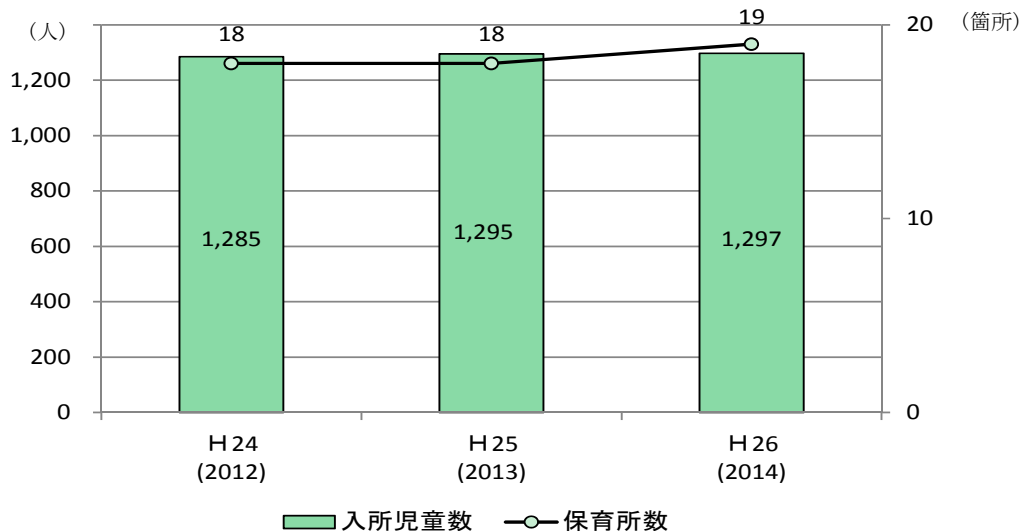


資料：神奈川県衛生統計年報

### (3) 保育所の状況

入所児童数はわずかに増加しています。

入所児童数はわずかに増加し、保育所数は平成26年（2014年）に1カ所増加しています。

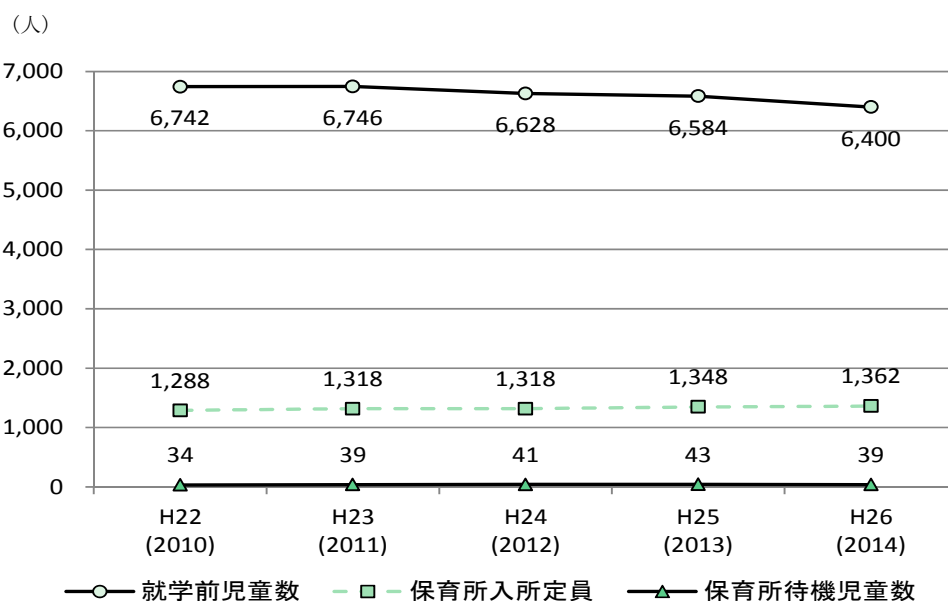


資料：保育課調（各年4月1現在）

### (4) 就学前児童数・保育所入所定員・保育所待機児童数の状況

待機児童数に大きな変化はなく、40人前後で推移しています。

就学前児童数は減少傾向、保育所入所定員は増加傾向ですが、保育所待機児童数は40人前後で推移しています。

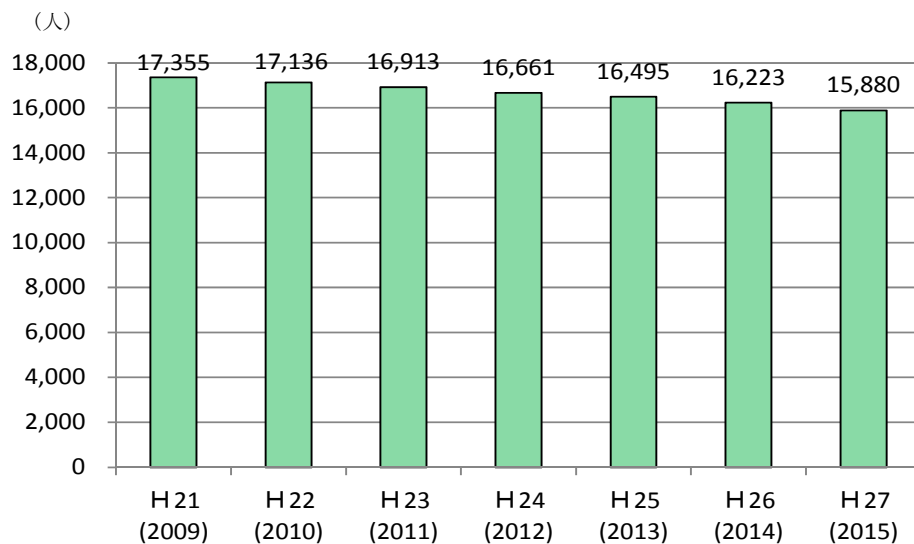


資料：保育課調（各年4月1日現在）

## (5) 年少人口の状況

年少人口の減少傾向が強まっています。

年少人口（0～14歳）は減少傾向にあり、平成27年（2015年）には16,000人を割っています。

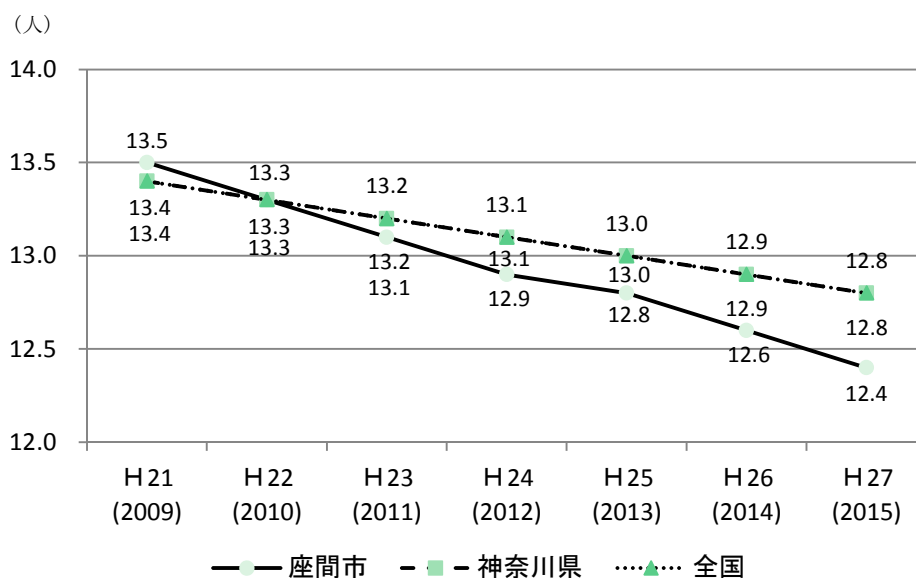


資料：神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）

## (6) 年少人口の割合

年少人口は全国・県と比べて減少傾向が強まっています。

年少人口（0～14歳）の割合の減少傾向は、全国、神奈川県と比べてわずかに強くなっています。



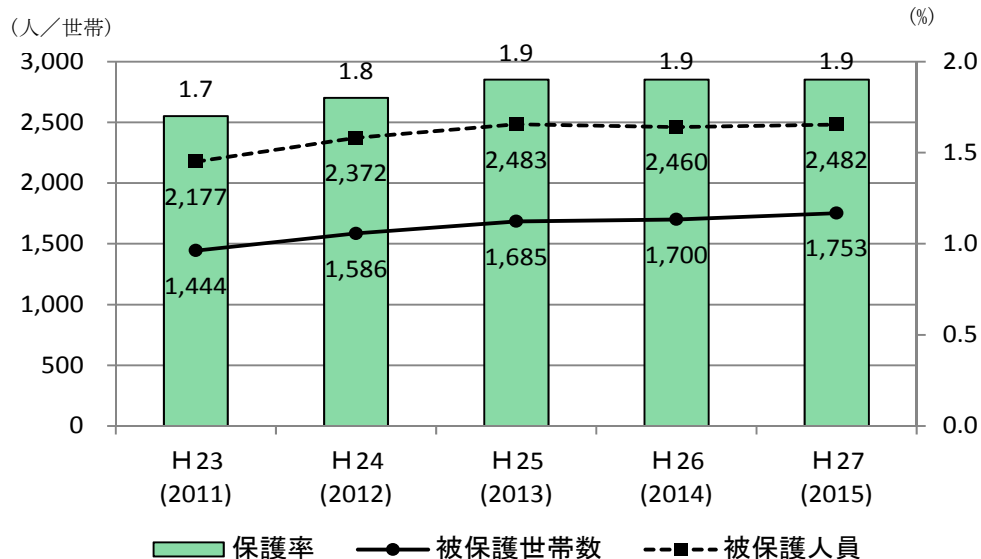
資料：総務省年齢統計月報、神奈川県年齢別人口統計調査（各年1月1日現在）

## 5 生活困窮者の状況

### (1) 被保護世帯数、被保護人員数、保護率の推移

人口に占める保護率は2%近くとなっています。

被保護世帯数、被保護人員数はともに上昇傾向にあり、人口に占める保護率も2%近くとなっています。

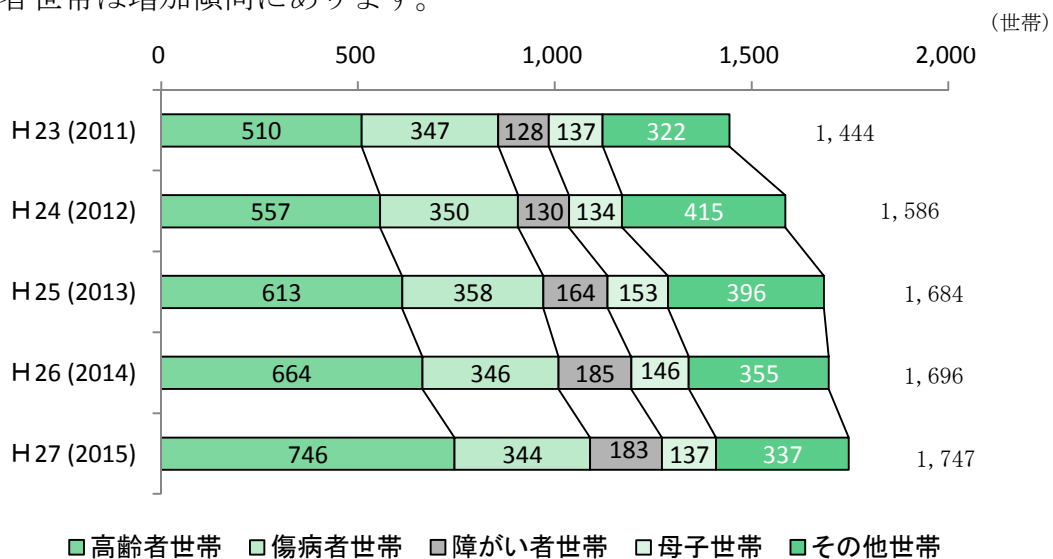


資料：平成27年度保健・福祉の概要（各年4月1日現在）

### (2) 被保護世帯の類型別世帯数

被保護世帯の合計数は増加しています。

高齢者世帯は増加傾向にあります。

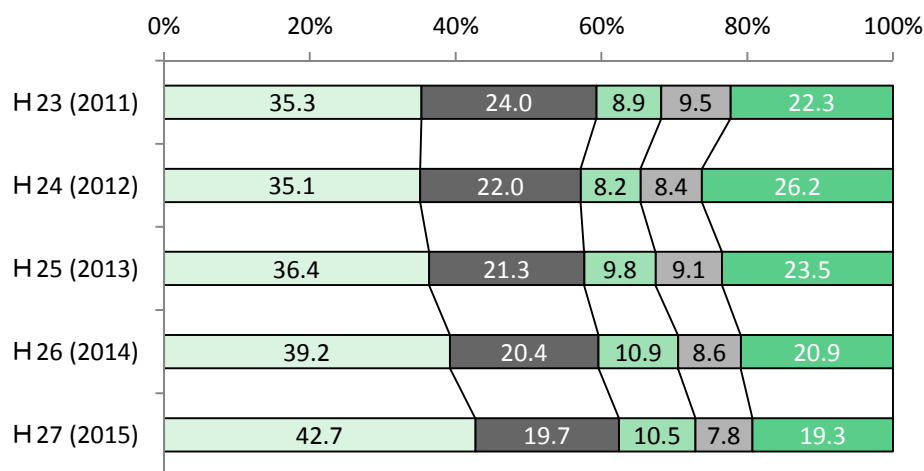


資料：平成27年度保健・福祉の概要（各年4月1日現在）

### (3) 被保護世帯の類型別構成比

高齢者世帯と障がい者世帯の割合が上昇傾向です。

最近の傾向として、高齢者世帯の構成比が上昇しています。



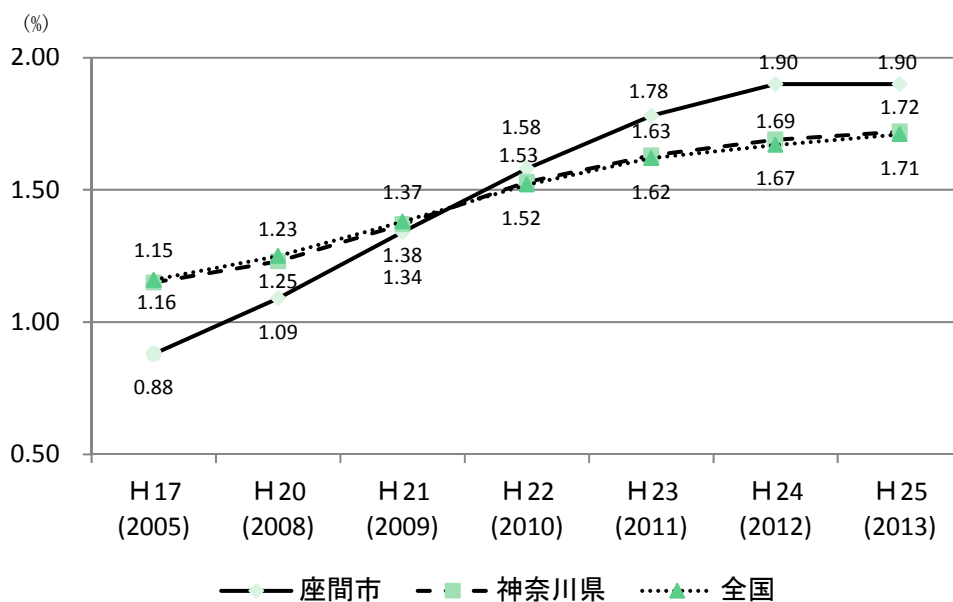
□ 高齢者世帯 ■ 傷病者世帯 □ 障がい者世帯 □ 母子世帯 ■ その他世帯

資料：平成27年度保健・福祉の概要（各年4月1日現在）

### (4) 保護率の比較

全国・県よりも増加傾向が強くなっています。

市の保護率は、かつては全国や県よりも低かったものの、最近ではやや高くなっています。



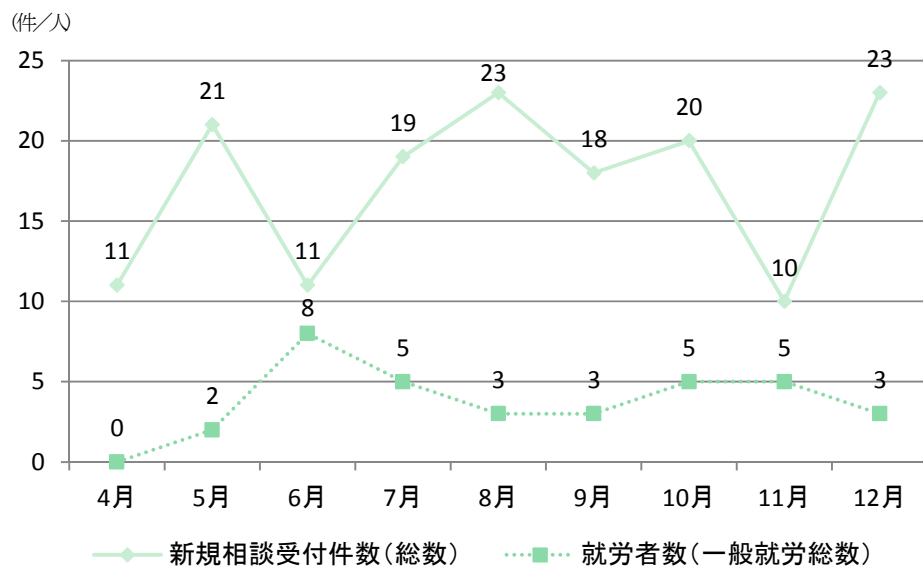
資料：平成27年度保健福祉の概要（各年4月1日現在）  
被保護者調査（各年月平均）



### (5) 平成27年度 生活困窮者新規受付件数及び就労者数（座間市）

新規相談受付件数は月平均約17件、就労者数は10人未満で推移しています。

新規相談受付件数は、1月当たり10件～23件の間で、就労者数は10人未満で推移しています。



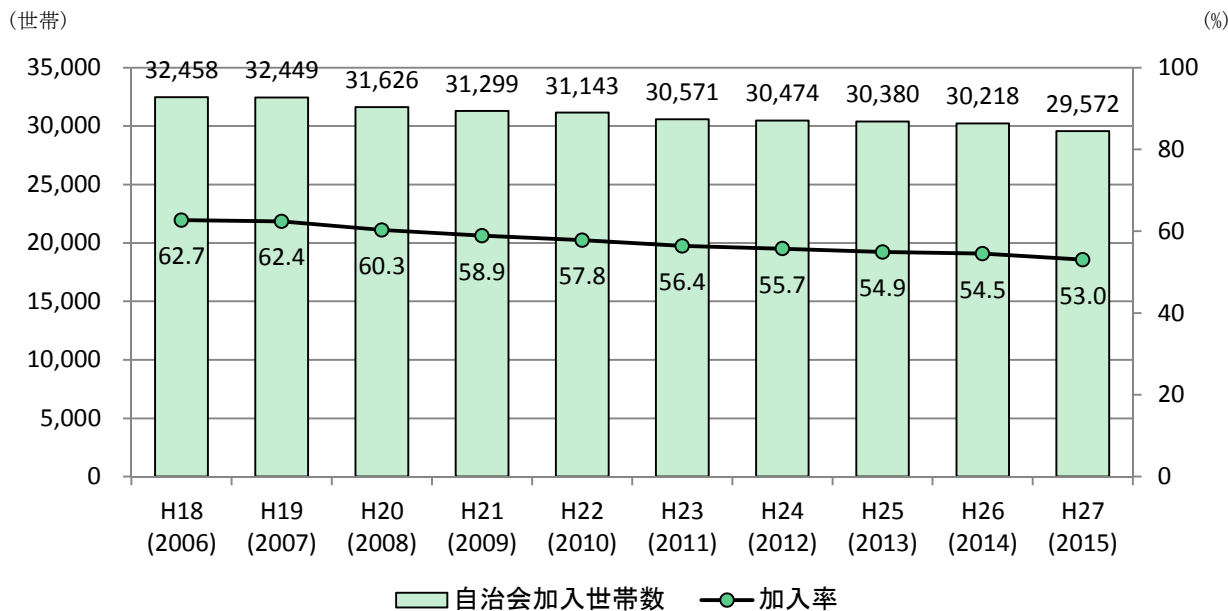
資料：生活困窮者自立支援制度に関する支援状況

## 6 地域活動などの状況

### (1) 自治会の加入状況

自治会加入世帯数、加入率は減少しています。

自治会加入世帯数、加入率はいずれも減少傾向にあります。

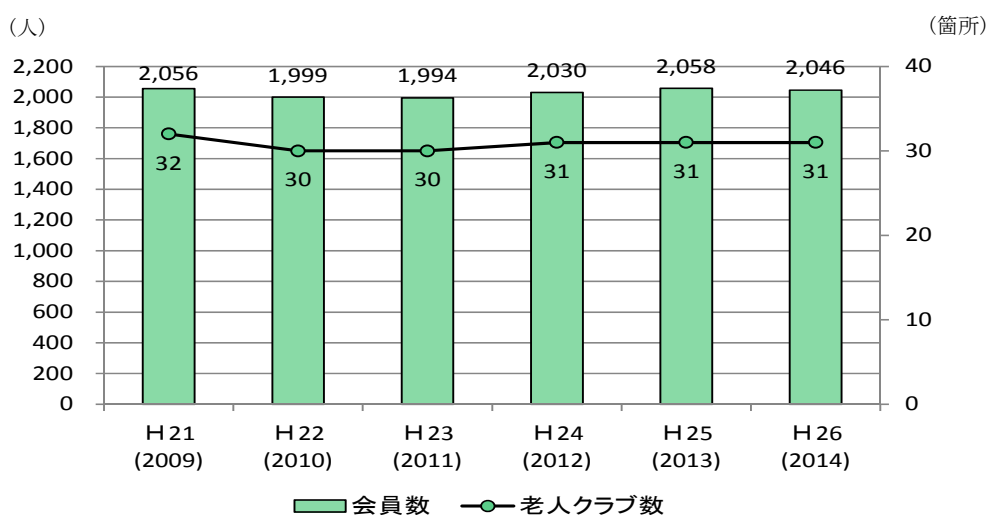


資料：市民協働課調（各年4月1日現在）

### (2) 老人クラブの状況

老人クラブの会員数に大きな変化はありません。

老人クラブ<sup>※9</sup>の会員数は、2千人前後で推移しています。

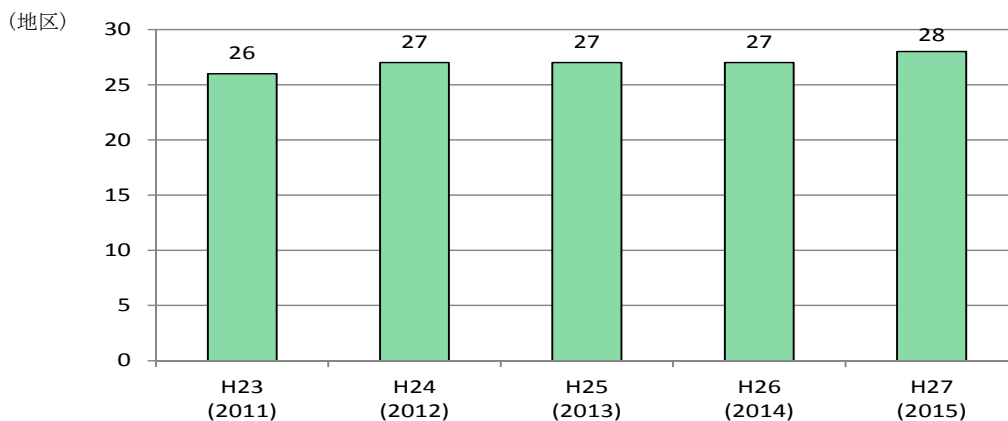


資料：福祉長寿課調（各年4月1日現在）

※9 老人クラブ：高齢者の心身の健康の増進を図り、老後生活を健全に豊かにすることを目的とした自主的かつ中立的な組織。概ね60歳以上の者を会員とし、主な活動内容として、社会奉仕活動、教養講座、スポーツ活動などが行われている。

### (3) 地区社会福祉協議会数

ここ数年、地区社会福祉協議会活動は徐々に広がりつつあります。



資料：市社会福祉協議会調（各年4月現在（平成27年（2015年）は12月現在））

### (4) 市社会福祉協議会へのボランティア登録団体数

市社会福祉協議会へのボランティア登録数は57団体です。

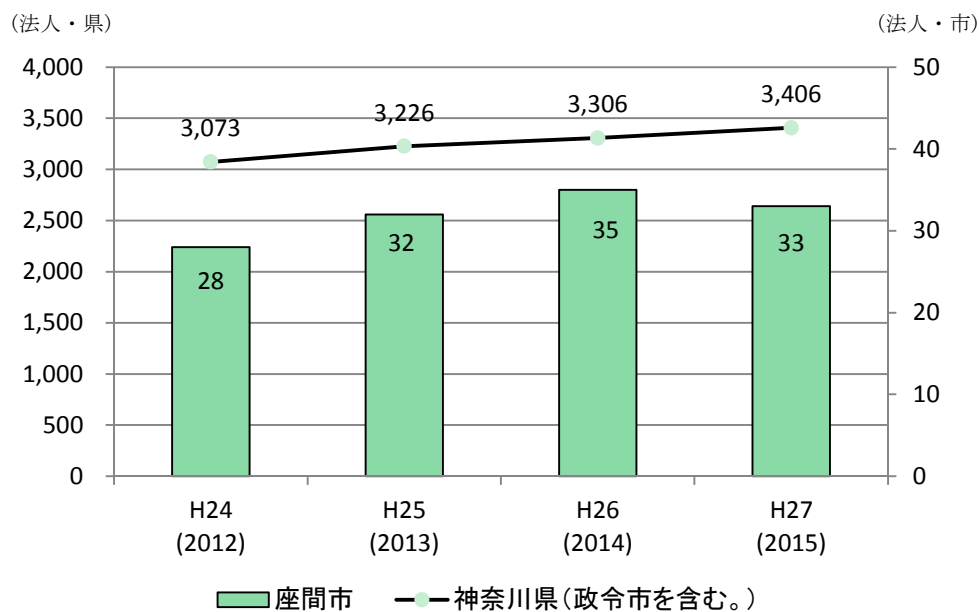
分野名	団体数
障がい者支援	16
福祉施設支援	4
子育て支援	7
外国人支援	3
学術・文化・芸術等振興	20
まちづくり環境保全	6
生涯学習	3
計	59

資料：市社会福祉協議会調（平成27年（2015年）3月31日現在）

## (5) NPO法人の推移

本市のNPO法人数に大きな変化はありません。

本市のNPO法人数は30前後で推移しています。



資料：内閣府政策統括官(経済社会システム担当)付参事官(共助社会づくり推進担当)調  
資料：県NPO協働推進課調

(各年3月31日現在 (H24 (2012) のみ4月1日現在) )

参考：平成27年 (2015年) 12月31日現在、県3,465、市33